

# グリーンインフラの推進

---

国土交通省 総合政策局 環境政策課  
和田 紘希

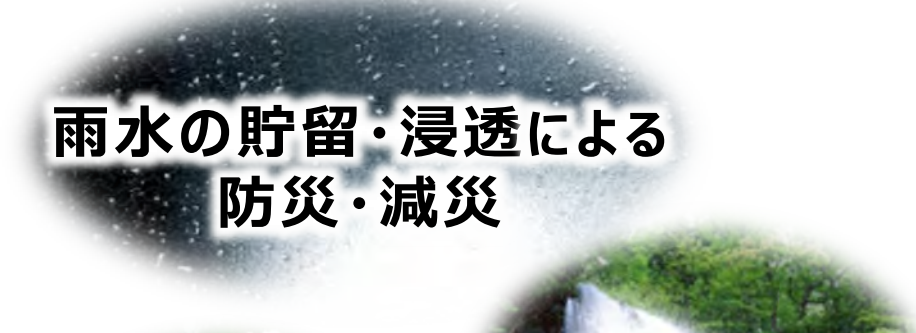
2022年3月22日

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

## 自然環境が有する多様な機能



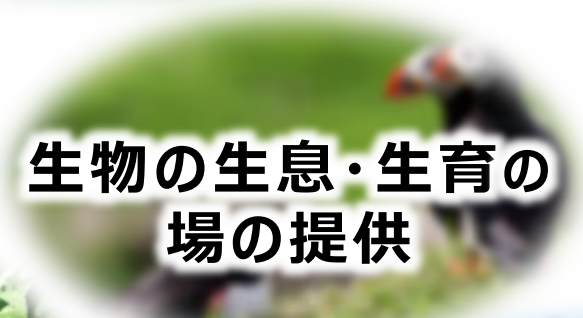
植物の蒸発散機能を通じた  
気温上昇の抑制



雨水の貯留・浸透による  
防災・減災



水源涵養



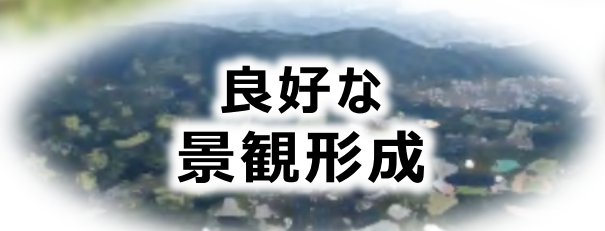
生物の生息・生育の  
場の提供



水質浄化



農作物の  
生産



良好な  
景観形成



土壌の  
創出・保全

## (1) 気候変動への対応

緩和策であり適応策でもあるグリーンインフラ

## (2) グローバル社会での都市の発展

官民が連携して、グリーンインフラの取組を推進し、  
グローバル社会での都市間競争を勝ち抜く魅力ある都市空間の形成が重要

## (3) SDGs（持続可能な開発目標）、ESG投資等との親和性

グリーンインフラは、SDGsの目標を実現するための基盤。環境に高い関心を有する  
民間資金を呼び込み、環境と共生したインフラ整備や土地利用の推進を期待

## (4) 人口減少社会での土地利用の変化への対応

人口減少社会で増加する管理放棄地や低未利用地の解決策の一つとして  
グリーンインフラの取組に期待

## (5) 既存ストックの維持管理

社会資本の老朽化が進行し、維持管理の担い手が減少する状況で、  
維持管理分野におけるグリーンインフラの効果的な取組について検討を進めることが重要

## (6) 自然と共生する社会の実現

豊かな自然環境を維持し、緑と水のネットワークを形成することにより、  
生物多様性の保全と自然と共生する社会を実現

## (7) 歴史、生活、文化等に根ざした環境・社会・経済の基盤

多様な主体が参画するGIの取組を通じて、  
地域特有の環境・社会・経済の基盤である自然資産の持続的な維持管理が求められている

従来から自然環境が持つ機能を  
活用し、防災・減災、地域振興、  
環境保全に取り組んできた

令和元年東日本台風時に、公園と  
一体となった遊水地が鶴見川の水  
を貯留し災害を防止するなど、  
**気候変動に伴う災害の激甚・頻発  
化への対応**に貢献

グリーンインフラで  
守る



グリーンインフラで  
憩う



**コロナ禍**を契機として、**自然豊か  
なゆとりある環境で健康に暮らす  
ことのできる生活空間の形成**が  
一層求められている

**SDGs、ESG投資**への関心が高ま  
る中、人材や民間投資を呼び込む  
**イノベーティブで魅力的な都市空  
間の形成**に貢献

グリーンインフラで  
呼び込む



グリーンインフラで  
つなぐ



グリーンインフラは、植物の生育  
など時間とともに機能を発揮。  
**地域住民が計画から維持管理まで  
参画**できる取組

**グリーンインフラの活用により、防災・減災、  
国土強靱化、新たな生活様式、SDGsに貢献する  
持続可能で魅力ある社会の実現を目指す**

## 水辺からはじまる生態系ネットワークの形成

- 災害復旧としての治水事業に際して、湿地を再生し、河川を基軸とする生態系ネットワークを形成することにより、コウノトリの野生復帰を実現。無農薬・減農薬農業によるブランド米の生産、環境学習等の地域振興も実現。

コウノトリ野生復帰推進計画に基づく環境整備



写真出典：兵庫県ホームページ  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk01/documents/000019355.pdf>

平成16年台風23号による浸水被害



写真出典：「みんなが輝く地域の宝もの 円山川」  
 (国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所 2011.03.30)

治水対策の実施

河川を軸とした生態系ネットワークの形成・流域での地域の取組



河川管理者による治水対策と併せた湿地整備



地域による人工築塔整備、無農薬・減農薬農法等

野生絶滅したコウノトリの野生復帰を実現

波及効果



↑[ブランド米]  
 「コウノトリ育むお米」の売上高は放鳥開始時  
 2,200万円から4億円（H28年）に



←[環境学習]  
 小学校の環境学習の一環として、小学生による生物調査を実施

[地域づくりへの貢献]  
 整備した湿地を活用し、「加陽湿地まつり」を開催

多様な主体の連携による取組の実施



二子玉川ライズ

自然環境と調和したオフィス空間の形成  
 駅の利用者数※1 : **30%アップ**  
 地価公示価格※2 : **1.33倍**

※1 : 直近10年間での利用者数の比較

※2 : 駅周辺の地価公示価格(平均値)の  
 H24年度からR元年度の比較

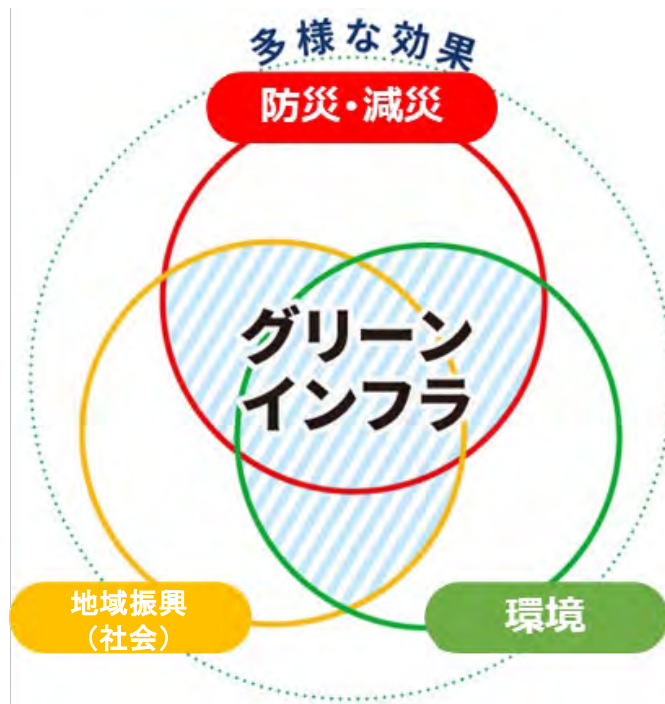


兵庫県豊岡市

河川を軸とした生態系ネットワークの形成  
 によるコウノトリの野生復帰

ITツーリズムによる経済効果 : **10億円**

ブランド米の付加価値 : **54%アップ**



鶴見川多目的遊水地

都市公園と一体となった多目的遊水地

雨水の貯留効果※3 : **94万m<sup>3</sup>**  
 公園施設利用者数※4 : **220万人**

※3 : 令和元年東日本台風時の貯留量

※4 : 平成30年度実績



バイオフィリックデザインの導入

緑視率 : **10~15%確保**

ストレス軽減効果 : **11%軽減**

- 国土交通省において、産学官の多様な主体が参画し、グリーンインフラに関する様々なノウハウ・技術等を持ち寄る場として、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」を令和2年3月に設立。
- 「企画・広報部会」、「技術部会」、「金融部会」を設置し、グリーンインフラの社会的な普及、活用技術やその効果評価等に関する調査・研究、資金調達手法等の検討を進め、グリーンインフラの社会実装を推進。

## グリーンインフラ官民連携プラットフォーム（R2.3設立）

**会員**

**都道府県  
市区町村**

**関係府省庁**

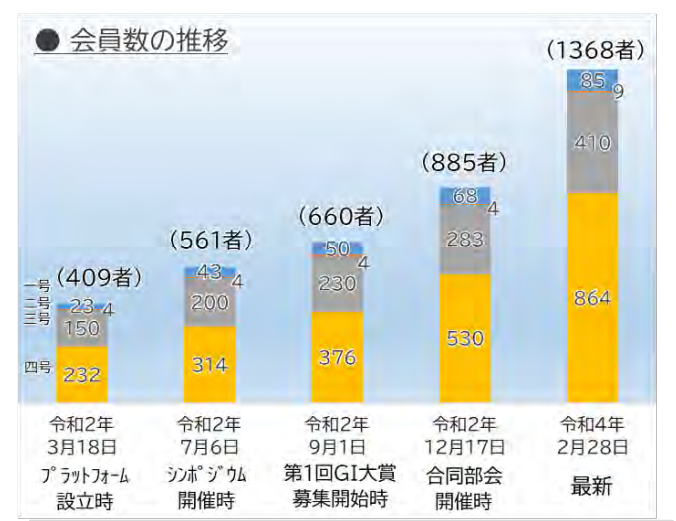
**民間企業  
学術団体等**

**個人**

- 役員・運営委員**

【会長】二宮 雅也（経団連自然保護協議会 会長）  
 【会長代理】 浦井 史郎（東京都市大学 環境学部 特別教授）  
 【運営委員】 ○：委員長

  - 石田 東生（筑波大学 名誉教授）
  - ・伊藤 幸男（一般社団法人 日本造園建設業協会 技術委員長）
  - ・今井 稔（一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 インフラストラクチャー研究所 研究部長）
  - ・浦嶋 裕子（MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 総合企画部 サステナビリティ推進室 課長）
  - ・屋井 裕幸（公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会 常務理事）
  - ・河岸 茂樹（横浜市 環境創造局 政策調整部長）
  - ・北栄 階一（株式会社日本政策投資銀行 ストラクチャードファイナンス部 課長 兼 環境社会評価室長）
  - ・竹内 洋徳（一般社団法人不動産協会 事務局長代理）
  - ・佐藤 留美（特定非営利活動法人 Green Connection TOKYO代表理事）
  - ・島多 義彦（一般社団法人日本建設業連合会 土木工事技術委員会 環境技術部会 委員）
  - ・瀧 健太郎（滋賀県立大学 環境科学部 准教授）
  - ・中村 圭吾（国立研究開発法人 土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員、自然共生研究センター長）
  - ・西田 貴明（京都産業大学 生命科学部 准教授）
  - ・福岡 孝則（東京農業大学 地域環境科学部 准教授）
  - ・増田 成玄（独立行政法人都市再生機構 都市再生部 事業企画室 担当課長）
  - ・松家 新治（国土交通省 総合政策局 環境政策課）
  - ・真鍋 政彦（株式会社日経BP 日経クロステック編集部 副編集長）



■ 一号会員(都道府県及び市区町村) ■ 二号会員(関係府省庁)  
 ■ 三号会員(民間企業、学術団体等) ■ 四号会員(個人)

**活動内容**

### 企画・広報部会

#### G Iの社会的な普及

- 情報発信・意見交換
- グリーンインフラ大賞
- パートナーシップ構築支援等

### 技術部会

#### G I技術の調査・研究

- G I技術の収集・紹介(技術集)
- G Iに関する効果・評価手法等の検討等

### 金融部会

#### G Iの資金調達の検討

- 民間資金活用事例の収集・紹介(資料集)
- グリーンボンド等の資金調達手法の活用促進等

**※会員申込みはこちらから**  
 グリーンインフラ官民連携プラットフォームWEBサイト  
<https://gi-platform.com/>



持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりに向けて



# グリーンインフラ産業展 2023

2023年2月1日(水)～3日(金)

東京ビッグサイト・南ホール

主催



日刊工業新聞社

共催

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

## 開催概要

名称:グリーンインフラ産業展2023

テーマ:持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりに向けて

会期:2023年2月1日(水)～3日(金)

各日10:00～17:00

出展対象:グリーンインフラに関わる製品やソリューション

会場:東京ビッグサイト・南1、2ホール

主催:日刊工業新聞社

共催:グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

同時開催:防災産業展2023

国際宇宙産業展2023

出展のご案内  
来場のご案内等  
詳細はこちらから



<https://biz.nikkan.co.jp/eve/green-infra/>